

# やすらぎ通信

年末年始号

## 核兵器廃絶を願う

昨今の世界情勢は、七十八年間、戦争のない平和な日本にとって、考えられない状況の情報がテレビ、新聞等で報道されていますが、実際、世界各地で深刻化し緊張が高まっています。何とかならないのかと思いますが、過去の怨念や現実的な思いが作用し、のっぴきならない世界情勢のようです。

今年も、核兵器禁止条約の第2回締約国会議が米国ニューヨークで開かれました。ウクライナ進攻やパレスチナ自治区ガザでの戦闘など国際情勢の緊迫化で「核戦争の危機が高まっている」と警告。核廃絶の必要性を訴えています。一方、米英仏中口の核保有五大国は条約に参加しておらず、非核国が主導する核廃絶に向けた前向きな意見は単なる非核国間の締結に他かならず、実効は難しい状況です。日本は昨年第一回のウイーン会議にも参加を見送り、今年も同じく不参加でした。

岸田総理は広島県出身で嫌というほどその経験を熟知しているはずですが、最初は会議にも参加する予定も、突然見送りになり、国のリーダーとして、日本をどうしたいのか、日本の行き先を、はっきり

示すべきだと思えます。

世界で唯一の被爆国は日本だけです。その被災地の総理大臣は日本を代表して、核廃絶を強く世界に発言して欲しいものです。もしも、核を持ち出し戦争になれば、早い者勝ちで、世界戦争になり、ゆくゆくは、世界終焉もありえます。長い間苦勞し、世界を豊かにしてきたのは先人たちの努力のたまものです。せっかく築いてきた社会生活も終わりです。数十年不景気の中、軍事費は膨張するばかり、敗戦後、日本がどれだけ苦勞してきたか、人が変わり、その折の苦勞は忘れてしまったのでしょうか。

我々に関係ない話ではありません。ウクライナやイスラエルの被弾の様子を見る限り、先の大戦の如く、子供たちや女子の悲しむ姿を見るにつけ、明日は我が身と考えざるを得ません。どうしようもないことではなく、皆でこの人間社会を人間同士の争いで、人間が作った武器で、根絶せしめることは、絶対にあつてはならないことです。

お釈迦様も「恨みをもつものに、恨みを持って対してはならない。恨みを忘れ、愛に代えることこそ真理である。」と法句経第五番に説かれています。しかし、身近な問題でも「わかっちゃいるけど、やめられない事情もある」ことを人間の業としてあること自覚し、懺悔しなくてはならないでしょう。お釈迦様は人間の業の根本は「貪瞋痴の三毒」だと喝破しました、反省の極みです。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌



かどいけこども食堂 多くの皆様のご協力により実施できています

沼津市社会福祉協議会、沼津市共同募金会、門池連合自治会、岐阜米穀株式会社、労金、東海不動産ライオンゲート、村田様、大日方様、坂本様、矢後様、植松様 R5.4~12 現在 (団体・会社 敬称略)

【檀信徒行事】

十二月

- 三村家・山越家・小岩井家ご法事
- 和田家ご法事
- 道了講
- 山本家・鈴木家ご法事
- 吉田家・藤澤家・中野家ご法事
- 後藤家・市毛家ご法事
- 地藏講
- 影島家ご法事
- 宮澤家ご法事
- 餅つき
- 山之内家ご法事
- 大晦日・除夜の鐘・新春祈禱

16	14	6	1	31	24	24	23	21	19	17	10	9	5	3	2
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

- 太田家ご法事
- 地藏講
- 齊藤家ご法事
- 山門大般若祈禱会

二月

- 稻持家ご法事
- 道了講
- 日吉家・林家ご法事
- 佐藤家ご法事
- 仁科家ご法事
- 地藏講
- じぞう寄席 滝川鯉朝 師匠

25	20	18	17	10	6	3	28	24	23	20
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

【三明寺やすらぎ大学】

- 土曜写経会
- 日曜坐禅と法話の会
- 月例写経会 第三月曜日
- 御詠歌(寺族) 第一・三火曜日
- やすらぎ大学(法話の会)

6	6	9	10	休
時	時	時	時	講
		30分	30分	

【お知らせ】

□年末の鎮火祭除夜の鐘・新春祈禱について  
今年から、年越しの除夜の鐘は、時間を早め午後8時から行います

□住職ラジオ法話

SBSラジオ 第四土曜日12時22分

コーストFM 76.7 月曜〜金曜7時30分

□三島法話カフェ 2月16日18時 住職担当

茶房樺(けやき)にて毎月1回お茶をしながら、東部地区のお坊さんの話を聴く会があります。

【編集後記】

「杓底の一残水、流れを汲む千億人」と 曹洞宗大本山永平寺の門柱に掲げられています。そこには開山道元禅師の有名なお話があります。禅師が門前を流れる川から柄杓で水を汲みにいかれました。それから、使わなかった残りの水を元の川に戻してこられたという話です。川は流れているからいくらでもあるから戻す必要はないと考えがちです。しかし、物のない時の水の尊さはいつの時代を超えても、大切な教えです。

ちびたけ 作. 伊藤マホーリ 絵. 茶畑るり



令和五年十二月一日 第八十九号  
発行所 曹洞宗大嶽山三明寺  
編集所 大嶽山正泰  
住所 沼津市大岡字三明寺四〇五一  
電話 055・929・2323  
FAX 055・929・2324  
URL http://www.sannyouji.com  
メール info@sannyouji.com



**市制100周年記念 市民が祝う沼津第九演奏会**  
4月から練習の日々でした 住職は1列目 市長の隣です



**月例写経会 土曜の朝も実施しています**



**長野県茅野市 検校庵へ梅花研修会**



**教区梅花講習会 三明寺講員参加**

**国際布教120周年と瑩山禪師700回大恩忌予修法要 IN ハワイ**



**日本から同行の寺族**



**現地の梅花講員さんと お寺の中は教会の様な椅子でした  
稼働テーブルに教典を置きお唱えします**



**ハワイ両大本山別院正法寺**



**オアフ島にある曹洞宗の寺院3か所に拝登  
ワヒアワ龍仙寺では婦人会の方々から昼食をいただきました**



**愛媛県の水産高校の生徒たちが犠牲となった「えひめ丸」  
慰霊碑の前で13回忌慰霊の詠賛歌をお唱えしました**



秋彼岸供養 9/24



ご先祖様、ペットの供養



印章供養祭 10/1

御印章の供養と印章店の皆様の商売繁盛の祈願をしました



第134回じぞう寄席

11/23

三遊亭楽八さん(左) 春風亭朝之助さん(右) 二つ目の二人会



落語家さんとの懇親会

世話人の皆さんのおかげで来年は35年になります



落語会後の抽選会

楽八さんは磐田市、朝之助さんは静岡市出身です